

平成 30 年 月 日

平成 30 年度 履修証明プログラム「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)スキルアッププログラム」  
履修生願書(1-1)

東北学院大学

ふりがな 氏 名	印		性 別 男 ・ 女	写真貼付欄 1. 脱帽 2. 3ヶ月以内に撮影したのもの 3. 写真の裏面に氏名を記入してから貼付のこと 4. 縦4cm×横3cm
生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (満 歳)	※本籍・国籍 都 道 府 県	※国籍は外国籍の方のみ記入してください	
現住所	〒 -			
電 話	自宅 ( )	携帯 ( )		
E-mail				
学 歴	在 学 期 間	学 校 名	学 部 学 科 等	卒 業 ・ 修 了 ・ 退 学
	年 月～ 年 月	高等学校		
	年 月～ 年 月	大学		
	年 月～ 年 月			
職 歴	在 職 期 間	勤 務 先 名	所 在 地	
	年 月～ 年 月		〒 -	
	年 月～ 年 月		〒 -	
	年 月～ 年 月		〒 -	
志望理由				

平成 30 年度 履修証明プログラム「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)スキルアッププログラム」履修生願書(1-2)

受講を希望する科目の「希望の有無」欄に丸印を付してください。なお、**選択科目は時間数の合計が 63 時間以上**となるようにしてください。

希望の有無	必修・選択の別	科目名	内容	時間数
<input type="radio"/>	必修	地域福祉の時代とコミュニティソーシャルワーク	・自助・共助・公助の福祉ミックス ・地域福祉をめぐる政策の動向	3
<input type="radio"/>	必修	コミュニティソーシャルワーク I	・コミュニティソーシャルワーク	3
	必修	コミュニティソーシャルワーク II	・ソーシャルグループワーク	3
<input type="radio"/>	必修	ケースワーク	・個別援助	3
<input type="radio"/>	必修	社会保障制度の新たな動向	・社会保障、制度改革、課題と展望	3
<input type="radio"/>	必修	データによる社会調査・分析(社会疫学) I	・アンケート調査の実際	3
	必修	データによる社会調査・分析(社会疫学) II	・統計ソフトを使った分析の実際	3
<input type="radio"/>	必修	データによる社会調査・分析(ライフストーリー聞き取り) I	・アンケート調査の実際	3
	必修	データによる社会調査・分析(ライフストーリー聞き取り) II	・聞き取り調査の実際	3
<input type="radio"/>	必修	地域の施策と資源理解 I	・福祉の担い手とその役割と現状	3
	必修	地域の施策と資源理解 II	・地域福祉資源の抱える課題と解決方策	3
<input type="radio"/>	必修	地域社会と CSR(企業の社会的責任)	・CSR の基本と近年の動向 ・地域社会と企業の関係	3
<input type="radio"/>	必修	組織運営	・リーダーシップと組織のマネジメント ・人的資源マネジメント	3
<input type="radio"/>	必修	協働の理論	・非営利組織のマネジメント ・協働における中間支援モデル	3
<input type="radio"/>	必修	地域福祉活動計画 I	・地域福祉活動(支援)計画の理解	3
	必修	地域福祉活動計画 II	・地域福祉活動(支援)計画策定の実際とその課題	3
	必修	地域福祉活動計画 III	・地域福祉活動(支援)計画の評価と活用	3
<input type="radio"/>	必修	中間報告会(グループワーク)	・グループワーク	3
<input type="radio"/>	必修	最終報告会(グループワーク)	・グループワーク	3
	選択	地域福祉とファンドレイジング I	・事業開発と資金調達	3
	選択	地域福祉とファンドレイジング II	・地域福祉課題対策と資金調達	3
	選択	協働の手法 I	・協働の歴史、協働の事例	3
	選択	協働の手法 II	・課題と今後	3
	選択	ファシリテーションの実際とワークショップ運営 I	・ファシリテーションの基礎	3
	選択	ファシリテーションの実際とワークショップ運営 II	・協働ファシリテーションの応用	3
	選択	ファシリテーショングラフィックス	・ファシリテーショングラフィックスの実践	3
	選択	災害ケースワーク	・被災による生活課題とは何か ・支援を活かすための調整力 ・外部支援と内部(地元)支援の特徴	3
	選択	健康格差論	・社会環境と健康の関係 ・社会経済と健康の関係 ・ひとのつながり・まちづくりと健康	3
	選択	傾聴の技法	・相談力向上(聴き上手になる)技法 ・ワーカーの持つ価値に係る自己覚知の意義	3
	選択	特論演習 I A(高齢者支援と地域社会)	・地域包括ケアセンター活動の実際	3
	選択	特論演習 I B(高齢者支援と地域社会)	・地域包括ケアシステム構築に向けての課題	3
	選択	特論演習 II A(生活困窮者支援と地域社会)	・生活困窮者自立支援モデル事業の実際と課題	3
	選択	特論演習 II B(生活困窮者支援と地域社会)		3
	選択	特論演習 III A(子育て支援と地域社会)	・地域社会と子育て支援	3
	選択	特論演習 III B(子育て支援と地域社会)	・地域の子育て力向上の事例とその課題	3
	選択	特論演習 IV A(障害者支援と地域社会)	・障害者を取り巻く地域社会の現状と課題	3
	選択	特論演習 IV B(障害者支援と地域社会)	・課題解決に向けた方策と目指すべき方向	3
	選択	特論演習 V A(発達障害者支援と地域社会)	・発達障害の理解	3
	選択	特論演習 V B(発達障害者支援と地域社会)	・社会的取り組みの現状と課題	3
	選択	特論演習 VI A(精神障害者支援と地域社会)	・精神障害者福祉の現状	3
	選択	特論演習 VI B(精神障害者支援と地域社会)	・精神障害者の地域生活における現状と課題	3
	選択	特論演習 VII A(在日外国人支援と地域社会)	・地域社会に外国人が定着する環境とは	3
	選択	特論演習 VII B(在日外国人支援と地域社会)	・外国人にとって快適な定住環境の形成	3
	選択	特論演習 VIII A(NPOと地域社会)	・マルチステークホルダーによる連携促進	3
	選択	特論演習 VIII B(NPOと地域社会)	・人材発掘・育成、情報プラットホーム	3
	選択	事例研究 I A(まちづくりとコミュニティソーシャルワーク:仙台市を事例として)	・仙台市における先取的な事例紹介と演習形式での検討	3
	選択	事例研究 I B(まちづくりとコミュニティソーシャルワーク:南三陸町を事例として)	・南三陸町における先取的な事例紹介と演習形式での検討	3
	選択	事例研究 II A(石巻市を事例としたコミュニティソーシャルワーク)	・石巻市における先取的な事例紹介と演習形式での検討	3
	選択	事例研究 II B(美里町を事例としたコミュニティソーシャルワーク)	・美里町における先取的な事例紹介と演習形式での検討	3
	選択	事例研究 III A(災害時の住宅政策とコミュニティソーシャルワーク)	・応急仮設住宅 ・災害復興公営住宅	3
	選択	事例研究 III B(市民セクター/社会的経済の展開とその課題)	・NPO、NGO ・社会的事業	3

※助成金等の申請状況について(該当する方は□に☑を付してください。)

助成金等の申請を行った(または行う)

( 専門実践教育訓練給付金  教育訓練支援給付金  人材開発支援助成金  その他( ) )